

ちば通研だより No.508

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所: 〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX: 043-247-1201 E-Mail: syuwa@nifty.com URL: <http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

倉知延章氏から通訳と健康について学ぶ ～健康対策班 学習会～

この通常国会において長年の悲願であった「手話施策推進法」が可決成立しました。これは手話に関係する日本で初めての法律になります。基本理念として「手話に関する国民の理解と関心を深めるようにする」ことが掲げられています。

これらを踏まえ倉知延章氏から手話通訳と健康についての学習会を健康対策班として企画しました。

倉知氏は千葉県の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業カウンセラーをされておられました。皆さんご存じの方も多と思います。

また、厚生労働省の労働政策審議会障害者雇用分科会委員をはじめ多く厚生労働省の委員を務めました。また、精神保健福祉士、手話通訳士、と多くの活動をされています。

地域の仲間を大切に、学びあいができる場として皆さんと一緒に学習しましょう！是非、多くの方の参加をお待ちしております。

日 時：2025年8月2日(土) 午後1時～午後3時30分

会 場：蘇我コミュニティセンター

テーマ：「メンタルヘルスを柱に楽しく元気に働くために必要なこと」

講 師：倉知 延章 氏 (九州産業大学 名誉教授)

申込締切：2025年7月28日(月)

※詳しくは、チラシを参照してください。

6月24日時点でのちば通研の会員数は312人
(読者会員会員数は11人)
2025年度の目標数は350人です
数は力！みんなで会員を増やしましょう～



しゅわりん

地域班会議 報告

6月1日(日)9時30分から12時まで蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館にて2025年度第1回地域班会議を開催しました。参加者は17地域班、18人(2人兼)、役員13人でした。

主な議題は、総会・ちば通研講座振り返り、総会議案書のデータ配信についてのアンケートについて、全通研代議員会報告、地区講座と地域班学習会について、会員拡大について、東京2025デフリンピック 気運醸成ほたるイベント等でした。

10時40分からは地区別会議を行いました。デフリンピック気運醸成に向けた取り組み、手話言語条例等制定に向けた取り組みを各地区から報告してもらいました。また、全通研代議員会報告を受けて、会員継続に向けてどんなことができるか話し合ってもらいました。講師派遣利用の地域班の選定(地域班学習会)や地区講座の開催時期についても確認しました。

12時から交流会を行いました。新しい班長さん、継続の班長さん、新しく選ばれた役員も一緒に、みんなで昼食を摂りながら、地域の活動について情報交換をしたり、他愛もない話をしたりしながら交流を深めました。久しぶりの対面での地域班会議でしたが「やはり直接顔を合わせるのはよいね」という声も聞かれました。

次回は9月7日(日)9時30分から12時までオンラインにて開催します。

(N-Action ちば代表 上利 理紗)

地域班会議に参加して

総武ブロックの有馬と申します。市川班で連絡係を担当しています。ちば通研の会員になって3年目で、今回初めて地域班会議に出席させていただきました。各ブロックの方々が目的を共有され活発に活動されていらっしゃることに大きな感銘を受けました。

また、隣接する市の方々ですらなかなかお話しする機会がないので、とても大切な機会だとも思いました。活動実績も浅く、慣れないことも多く不安もありますが、皆様どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(市川班 有馬 浩)

6月1日(日)今年度1回目、対面での地域班会議に参加しました。会長の挨拶や代議員会の報告で、ちば通研だけでなく全国の取り組みについて知ることができました。

今月開催の全国ろうあ者大会(岩手)に、2年後の千葉県開催に備えて視察団を送る等、すでに準備が始まっていることを知り頭が下がる思いです。

長年ちば通研に所属しながら、地域の中で細々と活動しているだけの自分にこのままでいいのかと心を動かされました。

他にも総会の感想や各専門部、専門班からの報告など盛沢山、時間を押して後半の地区別会議へ。こちらでも身近な話し合いに花が咲き、あっという間の時間でした。

(富里班 曾根原けい子)

第73回 全国ろうあ者大会 in いわて 報告

6月12日～15日盛岡市の岩手県民情報交流センター〈アイーナ〉・盛岡市民文化ホール〈マリオス〉・盛岡タカヤアリーナの3会場にて全国ろうあ者大会が開催されました。参加総数は2,500人を超え、大盛況でした。

12日は全日本ろうあ連盟の会議が主で、13日から一般参加することができます。13日は、連盟評議員会の傍聴・手話劇「運転免許裁判」アーカイブ上映会がありました。「岩手県のろう者が無免許運転で起訴されたことから裁判になり、ろう者も免許がとれるようになった」とざっくりとは手話を学習していく中で知ってはいたが、あらためて詳しく知ることができました。「免許を与えてほしいのは自分だけの問題ではなく全国のろう者の問題」と権利取得のための長い闘いが続き、敗訴ではあったものの、その後の道路交通法改正に結び付いたのである。昭和40年代のことではありますが、昨年の旧優生保護法の裁判に繋がっていると思うと感慨深いものがあります。



2年後の2027年には千葉での開催。私はその視察を兼ねて今回参加した次第です。ちば通研からは米田、阿部、折原、渡辺裕の4人が視察団に入り、千葉県聴覚障害者協会と県サ連の三団体で協力しながら行いました。また視察内容を分担しチームを作って情報を集め、連携・共有していきました。私はおもに託児を担当。3日間お話を伺いながら託児の様子を見学。こども企画イベントでは、子どもたちをサポートしながら“ミニさんさ太鼓”作りを体験しました。

14日午後は、各分科会や日帰りツアーにそれぞれ参加しました。さらに、夜には前夜祭（交歓パーティー）や特別企画《ボディランゲージ劇と手話ポエム》があり、庄崎隆志さんと河合祐三子さんをはじめとする特別出演者たちで、宮沢賢治の世界を楽しませてくれました。

この間、〈アイーナ〉では、バリアフリー展やデフリンピック関連展示。第40回全日本ろうあ連盟写真コンテスト入賞作品展。漫画コラボ展や地元支援学校2校の聴覚障害の児童・生徒による作品展など見どころも満載。

15日は、駅から少し離れたところにある盛岡タカヤアリーナにて式典やアトラクション・引継式（来年は富山）や、デフリンピックキャラバンカー出発セレモニーがありました。また、アリーナのバリアフリー展会場内でもアリーナ会場の様子をリアルタイムで見られるようになっていました。



盛岡の街を歩いていると、必ずどこかで手話で会話をしている人を見かけました。出発する東京駅から、すでに手話が飛び交う4日間でした。私は15日で終わりではなく、大会終了後に大型バスに乗り【平泉・一関エリア世界遺産】コースのツアーにも参加しました。

たくさんの出会いに感謝し、この経験を2年後に生かしたいと思います。

（保育・子育て支援班長 渡辺 裕美）

※全国ろうあ者大会に参加して 感想については、10ページに掲載しました。

「福祉の現場を経験して しろうが語る！」 Vol.4

県議会議員との交渉経過

昭和から平成に変わる頃私は「議会事務局総務課」に勤務しました。当時自民党に八千代市選挙区の選出で「清宮弘行さん」というベテラン議員がおられ(副議長も経験されましたが既に故人)この方は「八千代市身体障害者福祉会会長」という肩書きで当選された異色の保守系議員。先生は病で片肺を摘除し身障手帳を所持されていました。先生が衛生環境常任委員会の委員長の時(議会事務局職員は年四回の議会中は必ずどこかの委員会の「書記」として議事運営を補佐する業務が最優先となります)私が委員会担当だったこともあり委員会の議事進行のお手伝い(議案の予備審査、請願・陳情の受付から朗読、委員長の進行の口述書も書記が作成)県外視察の企画・運営にも携わらせて頂きました。当時船橋選挙区で野田佳彦先生が一期目当選で一人会派で活動されていました。私とも同年齢で親しみやすい方で全通研支部の研究誌を差し上げたり手話通訳のことを質問で取り上げてもらったりもしました(まさかの方が後に総理にまでなるとは夢にも思いませんでしたが)。実は公務員が政治的な活動に関与することは法律で禁止されていますが(時効成立?)私もまだ30才前後と若かったので、今何らかのアクションを起こさないと静観ばかりでは政治の世界は動かないと直感し、少しばかり「暗躍？」することを決意したのでした。

全国でも早く千葉県議会が「国に手話通訳の制度化を求める意見書」を可決・提出

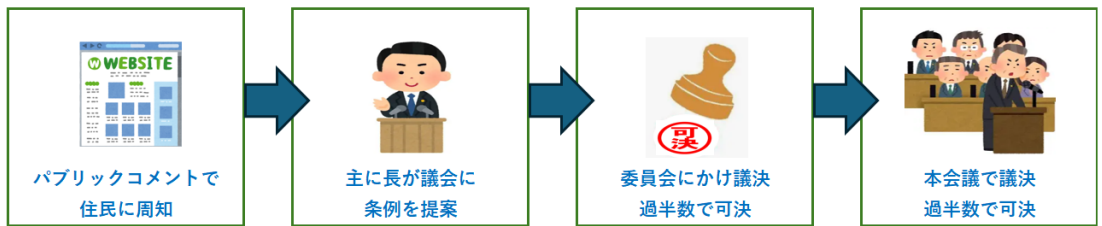
予算も条例も議会で決議・承認されない限り実行されません。議会本会議で議案・意見書・請願・陳情等が採択されるための要点は二つです

- ① 内容が超党派で賛同できる案件かどうか。
- ② 発案者(紹介議員)が力のある(影響力ある)議員かどうか。

千葉県は昔から圧倒的に自民党が強い保守王国。今も変わらないと思いますが当時120議席のうち約75%は自民党議員が占めていました。多くの場合発議者が保守系有力議員であればスムーズに採択され、逆に少数野党の発議だと採択されにくい。そこで川根会長と一緒にアプローチしたのが清宮議員でした。先生は障害者に理解の深い篤実温厚の方で、八千代や習志野で県集会を開催した時も来賓としてご臨席頂き、私が手話通訳に関わっていることも理解しておられました。自民党控室で清宮議員に「県ろうあ団体が全国的運動として取り組んでいる大事な意見書です」と主旨説明をすると「分かった。私が責任を持って党内・野党議員に根回しするよ」と言って下さいました。後日関係者からは「なぜ千葉県議会で意見書がすんなり通ったの？」と聞かれましたが、私が議会の裏工作？に関与したのは後にも先にもあれが初めて。でも手話言語条例の制定運動にもこうした地方議員への働きかけは必要と考えます。(黒岩史郎) 次回に続く⇒

通常 条例を通す流れ

参考



医療班コーナー



夏の肌トラブル

夏の肌トラブルの原因となる代表的な汗と紫外線による症状について

- ・ あせも：汗を作り出す管（汗腺）が詰まることが原因です。
汗をたくさん作り出すときに、管が詰まってしまう、排出されずに炎症を起こします。
＜対処方法＞
かゆみがある場合は、かゆみ止めを塗りましょう。搔かないことも悪化させないポイントです。濡れタオルで冷やすと、かゆみが収まります。
＜予防方法＞
汗をかいたら、早めにシャワーを浴びたり、濡れタオルで押さえるようにして汗を除去し、そのあとにスキンケアをしましょう。
(肌の状態に合わせてローションやクリームを使い分けるなど)
 - ・ 日焼け：紫外線に強く当たった肌が赤くなり、ひどくなると熱感を持ったり、水ぶくれになります。日焼けは、やけどと同じです。
＜対処方法＞
流水や保冷剤などを使って冷やし、その後の保湿も大切です。
(保冷剤は直接肌に当てず、タオルなどでくるむ)
広範囲の場合やひどくなった場合は、皮膚科を受診しましょう。
＜予防方法＞
日傘や帽子などで、紫外線が肌に直接当たらないようにしましょう。
日焼け止めは、使い方をよく読んでから使用しましょう。こまめに塗り直すことが効果的です。
 - ・ 日光アレルギー：日光にさらされた肌に、かゆみ・赤み・発疹・水ぶくれ・腫れ・肌の刺激感などの症状が現れることです。症状は数分から数時間で現れる場合もあれば、翌日以降に遅れて現れることもあります。
＜対処方法＞
濡れタオル位の冷たさで患部を冷やす。
症状を繰り返したりひどい場合は、早めに皮膚科を受診しましょう。
＜予防方法＞
日焼けと同じです。目からも紫外線は入るので、サングラス着用がおすすめです。
- ◎日焼け止めにはいくつかタイプがありますが、肌に優しい「ノンケミカルタイプ」を推奨します。

ろう教育班コーナー

聾学校の在籍者数が減少していることは、このコーナーで何回か取り上げています。その為、学習面や生活面で児童生徒同士の切磋琢磨の機会が失われています。特に乳幼児期の幼稚部から聾学校小学部に入学する子どもが減っており、中高の人数減少につながることは、何年も前から予想できていました。ただ、初めの頃は少子化が一番の要因だろうと思っていたのは事実です。

しかし、よく調査してみると、近年、人工内耳の進歩により保護者の聴覚活用の更なる教育効果の期待と、国のインクルーシブ教育^(※)の推進から、地元の小学校に入学する子どもたちが増えているという事実がはっきりとわかってきました。

※インクルーシブ教育：障害のある者とない者が共に学ぶことを通して、共生社会の実現に貢献しようという考え方である。過度な負担になりすぎない範囲で必要な便宜を図る合理的配慮をしなければならない。

聾学校では、聾学校以外の学校に在籍している子どもたちのために支援部を設置し、教育相談や乳幼児期支援そして通級による指導を行い、地域の聴覚障害者教育のセンター的機能を担っているのが、今の聾学校の現状です。

(ろう教育班長 上條 文裕)

No.11

わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



『温故知新②』 災害への対策 1,330円

自然災害の多い今、考えさせられる1冊です。「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」他被災地での取り組みなどが詳しく時系列で書かれているのでわかりやすいです。命を守る為の行動をどうしたら良いか是非、身近な方と話し合うきっかけになればと思っています。私の職場ではBCP(事業継続計画)のチームが立ち上がり、災害が起こった時にどのように事業を継続するか、止まった事業を早期に復旧するにはどうするべきか、と検討し計画を立てました。その時にもこの本が活かされました。

自分自身ができること、地域でできること、日ごろから考えて行動したいです。私と一緒に語り合いませんか。

申込は、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com

◎ちば通研では書籍等で販売による売上げの一部をちば通研の活動に充てています。

ぜひ、ちば通研から書籍等を購入頂けるようお願い致します。

少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。

私のイチオシ …習志野班…

・・・Mさんの手話の勉強を始めたきっかけと目標・・・

2020(令和2)年たまたま買い物に入ったお店に聞こえない店員の女性がいました。この女性と筆談で話をしましたが、二度三度と会ううちに筆談ではなく、手話で話をしたいと思いました。

思い切って2020(令和2)年12月30日お店に行き、「私と友達になってください」、「手話を教えてください」とお願いしました。

その女性はにっこりと笑って、「すぐ近くに手話サークルがあるから、通ったらどうですか」と誘って下さいました。それから私は手話サークルに通いました。

そこでいろいろな先輩方に出逢い、地域講座があること、手話通訳には資格があることなどを教えていただきました。私が手話の勉強を始めた頃は、ちょうどコロナが流行しており、手話サークルも緊急事態宣言でお休みが多くなった頃でした。

2021(令和3)年5月より奉仕員養成講座を始め、現在では通訳3を受講中です。まだまだ勉強不足ではありますが、今年の統一試験合格を目指して日々邁進しております。

2027(令和9)年、千葉で開催される全国ろうあ者大会には先輩方と活動する事を目標に勉強を頑張ります！

~~~~~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*

「手話サークル羽の会」の活動の一環として“ぽっかぽか”というのがあります。“ぽっかぽか”は、①配偶者を亡くすなどして独居で寂しく暮らしている人が楽しく生活できるように ②単独では社会参加が難しい人たちが活動に参加する事で生き生きとした生活ができるように ③自力で外出する事が困難な人が社会参加できる様になるため目的をもって2004年に活動を始めました。

活動日時は、毎月第1・第3木曜日の10時～13時。

場所は、公民館の部屋を予約して借りなければならない為、流動的です。

身体上の理由から会場まで一人で出向くことが困難な人たちには、実行委員が二人ひと組となり、福祉センターのボランティアカーを利用して自宅までの送迎を担います。

「内容」については、実行委員（現在、聴覚障がい者5名＋サークル員7名）が、毎月会議を開いて行事を企画します。折り紙工作、外部講師の指導により季節ごとの花飾りを作る等。

その他、出前講座では、業者を招いて福祉用具に関する体験学習、携帯電話の使い方を業者のスタッフから教わる、介護予防について理学療法士から指導を受ける、等々。

特別版として、年に一度“しおさい旅行”と称し、主に房総方面へ1泊2日の旅行へお出かけする。バスを貸し切り、都内まで出かけ、観光地巡りを行う事もあります。

活動開始から今年で21年となり、立ち上げから共に歩いて来た聴覚障がい者の仲間たちもサークル員も、寄る年波には勝てず体のあちこちに不具合を抱えている状況ではありますが。でも、この“ぽっかぽか”に参加している時は、みんな生き生きと輝いています。この光景を見る度に「今日も参加できて良かった～」とつくづく思うのです。

今後も、この愛しき仲間たちと一緒に活動を重ねて行ける事を心から願っています。

(原田 美智子)

~~~~~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*~~~~*

地域班通信

白井班：私のイチオシは、デファスリートの陸上山田真樹選手です。先日デフリンピックの選考会に行ってきました。お目当ての山田選手に会うことができ、サインを頂きました。白井から来たと言うと、「わざわざ遠くからありがとう。僕も白井にはサロンに通っていたよ」と気さくに話してくれました。レース前なのに、リラックスしていて、周りをハッピーにするオーラがありました。一気にトリコに…❤️ 陸上 200m、400m、リレーが見所です。いざ駒沢へ！現地で応援しまーす👏 (SE)



船橋班：料理をしながら落語を聴くのが毎日の癒し。梅雨時期の噺が思い浮かばない。「笠碁」はしとしと雨の描写があるが秋雨らしい。釣りをする「野ざらし」、川を泳ぐ「岸柳島」など水気のある噺くらいか。やはりじめじめした季節にぴったりの噺は「ちりとてちん」豆腐を腐らせる噺。湿気の多い今、食中毒には気をつけましょう。(TE)

かずさ班：手話サークル活動時には、各自名札をさげています。先日サークル員から耳の日まつりで指文字ストラップを購入したけれど使う機会が無いのでサークルで使いたいという意見があり、ナイスアイデア！と思いました。さっそく使い始めると他のサークル員も使い始める人が増え、持っていない人が「どこで買える？」と聞いてきたり、「新芽まつりで買ったよ」と新たに購入する人もいたりして、色とりどりのストラップが集まり、とても賑やかです。お互いのストラップを見て、「その色いいね！」「新色？」「アルファベットもあるの？」と手話ベリ(おしゃべり)の花も咲いています。(TJ)

習志野班：心地よい春はあっという間に過ぎて、いよいよ梅雨入り間近ですね。晴れた日にシーツやバスタオルなど大物を洗濯しては干します。たまに予想外の突然の雨に降られることもあります。布団に入った時「おひさまの匂い」に包まれるのが大好きです。

市原班：義母が丹精を込めてつくった品が30年以上に渡り毎年届いていた。桃のような香りを漂わせ、皮柔らかく、肉付きの良さが食欲をそそった。口にすることが叶わぬ今、改めての感謝を胸にあの味を求めて梅仕事に精を出す。みかん畑と梅林に抱かれた郷の介護施設で暮らす義母は及第点をくれるだろうか？



市川班：最近「月刊ぐるっと千葉」にはまっています。家で寛ぎながら1ページ1ページ県内各地の情報を楽しんでいます。6月号の特集に「梅雨の時期こそ訪れたい初夏の花びより」が掲載されています。バラ、紫陽花、花菖蒲など各地の美しい花を愛で、気分一新、鬱陶しい梅雨を乗り切りませんか？「市川は里見公園バラ園」「大町自然観察園」が掲載されています。

わかしお班：私は今、新しい仕事にチャレンジしています！今まではずっと介護の仕事をしていましたが、何か違う仕事をしてみたいと思って、車好きが高じて今年から自動車の整備の仕事を始めました。慣れない事や覚える事ばかりで大変ですが楽しく仕事ができています。これから一人前になれるように頑張りたいと思います。（YK）

成田班：2020年から始まった毎月最終金曜夜のNHK ラジオR1「みんなでひきこもりラジオ」を毎回聴いています。当事者の方の投書とリクエスト曲だけで構成される番組です。生きづらさを抱えるリスナーのことばに、また時に迷いながら寄り添うMCに共感する自分がいます。

八千代班：6月7日（土）当市で聴覚障害者協会後援会のカンパ活動が行われた。暴力・詐欺・誹謗中傷・差別などのニュースを見るにつけ心がしぼみ、人間不信気味。他人の事には無関心といわれる今、数年ぶりのカンパは受け入れられるのかな？と少し不安を持って参加した。もちろん無関心の人はいる。でも募金してくれる人、言葉をかけてくれる人も普通にいる。まだ大丈夫かも...と漠然と嬉しかった。

鎌ヶ谷班：音無美紀子さんの乳がん体験記をラジオで聞いた。手術で乳房を全摘し、失望していたとき、7歳の娘と一緒に風呂に入る。娘は傷を見ないように頭を下げず顔だけを見る。これは娘の気遣いだと思い号泣した。その私に娘は「おっぴいは生えてくるから大丈夫」と何度も叫ぶ。7歳頃は乳歯が生え替わる時期。この一言が一步前に踏み出す勇気となった。それを聞いて感動した。（SY）

六つ星班：山武郡市聴覚障害者協会と5つの手話サークル、そして六つ星班の7団体の連絡会「6つの海」を立ち上げました。今年度2回目のイベント「お楽しみ交流会」を開きます。昨年度1回目は六つ星班が主導で行いましたが、今回は各団体のイベント係が話し合い、協力して進めています。7団体がまとまっていくのは大変なことでしたが、これからも助け合って行けたらいいなあと思っています。



富里班：この春子供達それぞれ巣立ち、私も職場を変えた事で生活状況が一変した。1から覚える事が多く頭がパンク寸前。そんな中でも無意識に手が動く時がある。手話をしている。手話に関わった時間のおかげで、私の言語の一部になったかも、と少し嬉しく思った。(YK)

印西班：6月の学習会は、「東京 2025 デフリンピック」から初めて採用された種目、ハンドボールの強化選手として、今まさに厳しいトレーニングに奮闘中の、地元協会のTさんを講師に迎え、「デフリンピックよもやま話」と題した講演会を開催。その構成や歴史、日本ではまだマイナーなハンドボールについて等、「へえ〜っ、そうだったんだ！」がたくさんあり、とても楽しいお話に、デフリンピックへの期待がいやが上にも盛り上がりました。(MM)

海匠地域班：最近パソコンを使うことが多くなりました。作業が増えるごとに、わからないことが。特にExcelです。画面上は作った通りに表示されていても、印刷すると下の方が消えてしまい、どこにいったしまったのでしょうか。また、1本の線が何枚も続き消えません。班の先輩に教えていただき、月1回パソコン教室デビューです。

八街班：私は体操で元気をいただいております。会員は20代~90代で、1番長い方は40年も体操を続けています。1年に一度、東京、神奈川、千葉の会員が集い、体操をします。私も参加しました。1時間休まず体操すると汗が流れ気持ちよく最高でした。いつも先生から「継続は力なり。いつまでも元気でいられますように」と言われます。先日、89歳の方が体操を始め、1度も休まずに頑張っておられます。私も見習って、これからも励みたいと思います。

全国ろうあ者大会に参加して

岩手に入ると夏油温泉辺りの山々にはまだ雪がありました。全国ろうあ者大会の参加は二度目になりますが、今回も、多くの参加者に圧倒されました。樋下裁判劇の映像会場は超満員、翌日の分科会「人権」も満員の参加者で会場の熱気が室温を上げていきます。手話劇では手練れの演者が参加者を舞台に巻き込みます。ほとんど手話だけで通した三日間、この貴重な体験、来年も味わいたいと思います。千葉に戻ると、湿気に満ちた日常が待っていました。(成田班 水沼 功)

第73回となる今回は岩手山の雄姿が迎える盛岡市での開催でした。式典での石橋理事長の挨拶では、2つの裁判の結果や今年秋の開催のデフリンピックの話があり、ろうあ者のおかれている課題がやっと社会に浮上し、大きなうねりを感じました。

手話施策推進法案が参議院で可決し、衆議院に送られたことの情報も得ることが出来き、また、一步前進しました。真の共生社会をつくるまで私達は仲間とさらに前進したいと強く思った大会でした。(流山班 藤岡 徳子)

役員短報

日時：6月1日(日)13:00-16:00
 会場：蘇我コミュニティーセンター
 ハーモニープラザ分館講習室1
 参加者：15人

<主な議題>

○三役

- ・ほたるイベント 7月5日(土)
 当日までの準備と当日の担当を確認
- ・全国ろうあ者大会 inいわて
 6月12日(木)~15日(日)
 2年後の千葉大会を見据えて視察団を
 結成して下見を行う。

○広報部

- ・7月号掲載記事の確認

○組織部

- ・会員拡大 2025年度会員目標は350人
- ・5月31日現在303人(目標比:▲47人)
- ・3つの地域班結成に向けて準備をする。
- ・地区講座(東総)
 6月29日(日) 13:30-15:30
 佐倉市西部地域福祉センター会議室
 現地のみで開催。チラシ有。
- ・総会議案書のアンケート調査をちば通
 研ホームページに掲載。
 データ配信登録者にお知らせして協
 力を願います。

<部・班の報告>

○三役から

- ・代議員会 5月24日(土)、25日(日)
 神戸市民福祉交流センター
- ・千葉県手話サークル連絡協議会総会
 6月1日(日) 佐倉市西部福祉センタ
 ー 石鍋副会長が来賓として出席。

○広報部

- ・デフリンピックのボランティアの体験
 談の掲載を予定している。
- ・ホームページのパスワードを6月2日
 から変更します。

○組織部

- ・地域班 ML を6月2日から切り替える。

○N-Action ちば

- ・栃木と山梨が中心となってイベントの
 開催を予定している。

○医療班

- ・講師派遣の基準を整理する必要がある。

○健康対策班

- ・8月2日(土) 13:00-15:30
 倉知延章氏を招聘しての講演会を予定。

○保育・子育て支援班

- ・5月24日(土) 15:00-17:00
 松戸市ふれあい22で班学習会を開催。

○労働班

- ・5月24日(土) 19:30-21:20
 学習会開催。

○事務局

- ・サマーフォーラム in きょうとで販売を
 する予定。

○関東手話通訳問題研究会

- ・5月10日(土) 総会・支部代表者連絡
 会議を越谷市中央市民会館で開催。

今後の予定

- 7月5日(土) ほたるイベント
- 7月6日(日) 役員会
- 7月12・13日 医療班一泊研修会
- 7月19日(土)
 午前：なるほど研修会
 午後：関東デフリンピック関連イベント
- 7月20日(日) 組織部会議
- 7月21日(月・祝) ろう教育班学習会
- 7月22日(火) 広報部会議
- 7月25日(金) サポーターズ印刷日
- 7月27日(日) TMG学習会
 労働班学習会
 医療班学習会
 関東通研支部代表者連絡会議
 関東通研組織担当者会議
 手話通訳士学科試験

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coccan.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは

パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail : syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は
本名もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切日は7月15日(火)です。

E-Mail : c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX : 043-247-1201 (早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめたの納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号:00120-4-708239

加入者名:千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座 (衛生学)

TEL : 077-548-2187

FAX : 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX : 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通
研健康対策班に、ご相談ください。

FAX : 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近は、災害はいつ起きて
もおかしくない状況です。そのため、会員
の安否確認をよりスムーズにするため、専
用のフォームを開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1Tct53>



あ と が き

梅雨入りとなり主人の実家の南の地方
では、もうすでに梅雨末期と思われる豪
雨がが続いています。さて、梅雨時の花と
言えば「アジサイ」ですね。私の住んで
いる市の花になっています。雨の中では
ひとときわ紫色が鮮やかで、思わず立ち止
まってしまいます。豪雨の中でもしおれ
ることなく咲き続けてほしいです。(IT)

中学時代の恩師の葬儀に参加しました。
私達が入学した年に新人教師として配属、
初めての卒業生になりました。校長まで勤
められた先生ですが今では考えられない
エピソードの数々…。体罰は悪いですが愛
ある行動は受け入れられるように思いま
す。先生との思い出を振り返りながら昨今
の教育を考えてしまいました。(S)